

富山県感染症発生動向速報

(2025 年第 33 週分・8 月 11 日～8 月 17 日)

■今週の主な動向

○COVID-19 患者報告数は今週減少した一方、入院患者報告数は増加しました。

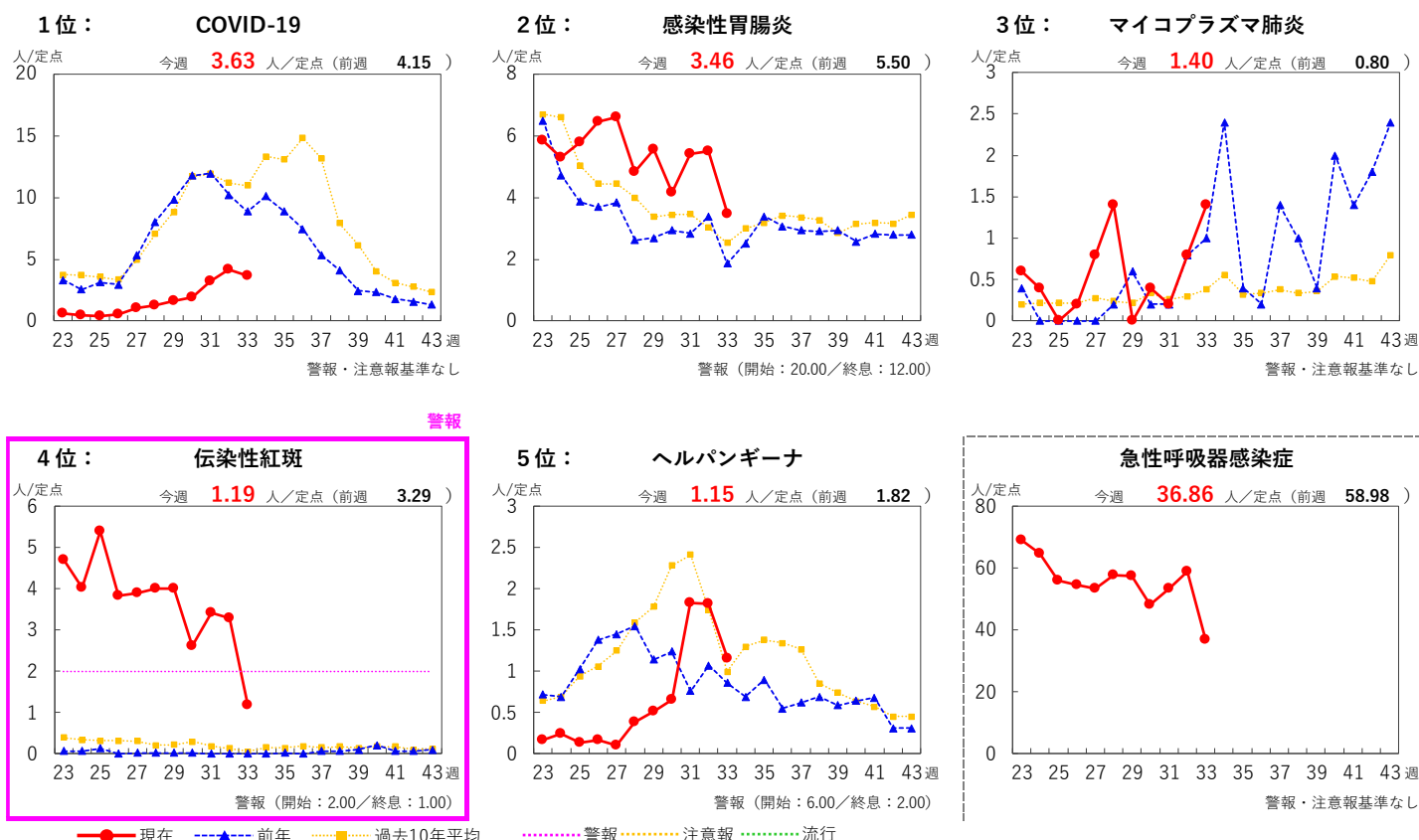
定点医療機関からの COVID-19 報告数は先週まで増加傾向でしたが、今週 3.63 人/定点に減少しました。お盆期間の休診の影響により、流行状況を過小評価している可能性があります。一方、基幹定点医療機関からの入院患者報告数は 31 人であり、先週 (21 人) から増加しました。今後の動向を注視する必要があります。(COVID-19 の疫学所見参照)

○腸管出血性大腸菌感染症が 2 件報告されました。

腸管出血性大腸菌感染症は、例年夏季に報告数が多い傾向があります。予防には、生肉や加熱が不十分な肉の喫食を避けること、調理する際の生肉の取り扱いに注意することが重要です。(第 20 週インフォメーション参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症 (第 33 週・8/11～8/17)

厚生センター (保健所) 管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 1 件 (40 歳代、女性)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2 件 (①20 歳代、男性、O103、VT1
②30 歳代、女性、O103、VT1)

五類感染症 梅毒 1 件 (20 歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期)

百日咳 6 件 (①第 32 週診断分: 10 歳代、女性 ②～④全て 10 歳代、男性
⑤10 歳代、女性 ⑥20 歳代、女性)



富山県感染症情報センター (富山県衛生研究所内)

TEL: 0766-56-5431 (直通) HP: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>



子どものほほが赤くなるリンゴ病 妊婦さんは感染にご注意を

《インフォメーション》

●伝染性紅斑（リンゴ病）

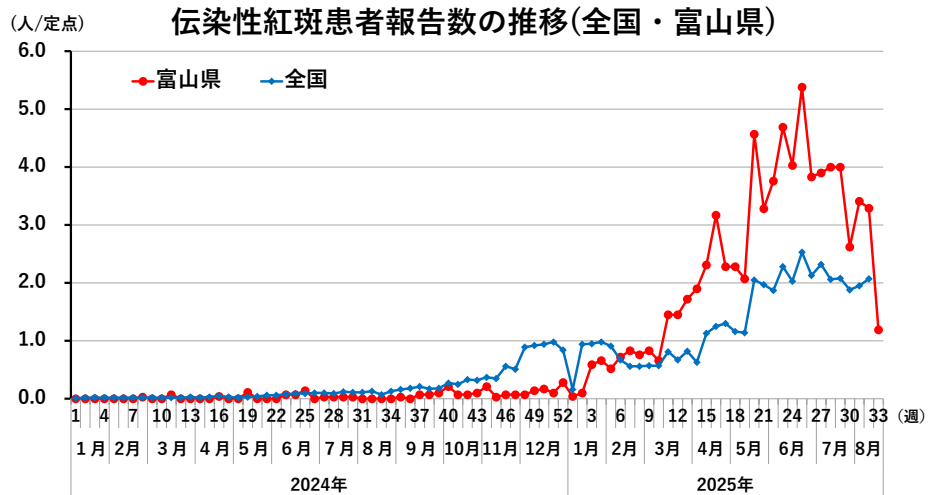
全国の伝染性紅斑患者報告数は昨年夏ごろから増加傾向が続き、今年の第 25 週には 2.53 人/定点となり、1999 年に現行のサーベイランス体制が導入されて以来の最高値を記録しました（[IDWR 2025 年第 26 号<注目すべき感染症>伝染性紅斑](#)）（図：青線）。

富山県内においては、今年に入ってから増加傾向が見られ、3 月以降急増しました（図：赤線）。第 15 週には警報開始基準値である 2.0 人/定点を超え、その後も終息基準値（1.0 人/定点）を上回る患者報告数が続いています。今週の患者報告数は 1.19 人/定点となり、先週の 3.29 人/定点より大きく減少しました。ただし、お盆期間の医療機関の休診により、流行状況を過小評価している可能性が考えられます。

全国、富山県ともに新型コロナウイルス感染症のパンデミック以降、伝染性紅斑の大きな流行はみられていませんでした。パンデミック前には数年毎に流行が観察され、流行年では 6～7 月ごろにピークがみられました。今後も発生動向を注視する必要があります。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルス B19 を原因病原体とし、小児を中心に発症する流行性の発疹性疾患です。患者の年齢は、5～9 歳が最も多く、次いで 0～4 歳が多いとされています。小児の場合、感染後 10～20 日で両方の頬に「紅斑」が出現し、リンゴの様に赤くなることが多いため、「リンゴ病」とも呼ばれています。紅斑は手足や体に広がることもあります。約 1 週間で消失しますが、長引く場合や一度消えた紅斑が再度現れる場合もあります。紅斑が現れる 1 週間～10 日前には、微熱や風邪の様な症状がみられます。この時期にウイルスの排出が最も多くなり、感染力が強くなります。一方、紅斑が現れる時期にはウイルス量は少なく、感染力はほとんどないと考えられています。

大人が伝染性紅斑に罹患することもあります。子どものように頬が赤くなることは少なく、関節痛を伴う関節炎や頭痛などの症状が強く現れます。妊婦が罹患すると、胎児に異常が起こり流産等の原因になることがあります。本感染症の感染経路は主に飛沫、接触感染です。妊娠中は風邪症状のある方との接触をなるべく避け、流水や石けんによる手洗いやマスクの着用などの感染予防を心がけましょう。



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第33週 2025年8月11日～2025年8月17日）

分類		疾患	今週報告分（第33週）					累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）							
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核			1			1	6	2	12	13	34	67	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く							5	1	8	7	20	41	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1			1		2	1	1	3	2	1	8	
	四類感染症	E型肝炎									3			3	
		A型肝炎									1	1		2	
		重症熱性血小板減少症候群（SFTS）									1			1	
		デング熱									1			1	
		レジオネラ症									1	2	1	9	13
	五類感染症	アメーバ赤痢										1		2	3
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症										4		5	9
		急性脳炎										1	1		2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		2		5	8	
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）											1	1	
		ジアルジア症											1		1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症							1		1	2	2	6	
		侵襲性肺炎球菌感染症							5		8	3	15	31	
		水痘（入院例）							1		1			2	
		梅毒					1	1	2	1	3	1	22	29	
		百日咳	1		1	1	2	5	29	129	124	29	250	561	
		風しん											1		1
急性呼吸器感染症（ARI）定点（43定点）	急性呼吸器感染症（※1）	196	152	483	138	616	1,585	5,566	4,900	19,079	4,310	23,269	57,124		
		28.00	30.40	43.91	19.71	47.38	36.86								
	インフルエンザ				1		1	936	858	1,650	979	1,881	6,304		
					0.14		0.02								
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	COVID-19	50	8	27	40	31	156	1,051	405	1,101	796	997	4,350		
		7.14	1.60	2.45	5.71	2.38	3.63								
	小児科定点（26定点）	R Sウイルス感染症			4		12	16	35	28	122	42	224	451	
					0.67		1.33	0.62							
		咽頭結膜熱	1		4			5	64	32	269	4	96	465	
			0.25		0.67			0.19							
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2		4	1	11	18	130	224	1,364	176	1,910	3,804	
			0.50		0.67	0.25	1.22	0.69							
		感染性胃腸炎	15	3	5	7	60	90	901	573	1,407	483	3,954	7,318	
			3.75	1.00	0.83	1.75	6.67	3.46							
		水痘		1	1		1	3	9	75	38	17	271	410	
				0.33	0.17		0.11	0.12							
		手足口病			7		4	11	3	8	42	8	45	106	
					1.17		0.44	0.42							
		伝染性紅斑	3		6	2	20	31	90	276	672	108	1,054	2,200	
			0.75		1.00	0.50	2.22	1.19							
		突発性発しん			1		14	15	5	17	99	23	112	256	
					0.17		1.56	0.58							
		ヘルパンギーナ		3	17	3	7	30	20	26	76	13	93	228	
				1.00	2.83	0.75	0.78	1.15							
流行性耳下腺炎			1		1	2	2	9	7	8	18	44			
			0.17		0.11	0.08									
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎									4	95		99		
	流行性角結膜炎	1	1				2	5	12	24	2	2	45		
		1.00	1.00				0.29								
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										1		1		
											1		1		
	無菌性髄膜炎														
	マイコプラズマ肺炎	1		2	2	2	7	20	8	28	23	8	87		
		1.00		2.00	2.00	2.00	1.40								
入院サーベイランス（5定点）	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									5			5		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							56	21	46	68	51	242		
	COVID-19による入院患者	11	10	2	1	7	31	101	90	64	125	223	603		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9/2～）の集計です。